

編集室より

◇ 今年の寒さは例年よりずい分早い。この調子だと冬の厳寒が思いやられるが、冬の出足の早い年は、案外年が明けてから寒さのゆるむことが多いので、天変地異も起らぬのではないかという気がする。が、2年前にあったあの大雪と極寒を思うと北国や県北の方々はそれだけの備えは十分にしておく必要があるであろう。特に、生きものを相手に生活をしている畜産農家は、人間様の防寒以上に家畜様のことを配慮することが必要である。

◇ ところで、本誌も昭和24年11月の創刊以来、今月号で15周年を迎えることが出来た。これもひとえに読者諸兄の御支援の賜と深く感謝している次第である。当時は戦後、ようやく畜産の復興が諸についた時で、岡山県畜産の発展のために、県内外の畜産情勢や畜産技術を畜産農家や畜産技術者に広く知らせることを目的に本誌は創刊されたのである。現在の惣津畜産会長が畜産課長として、本県に赴任してこられたのもそのころで、以後同氏の指導のもとで岡山県畜産は目を見はらせる大躍進を遂げてきた。本誌も畜産研究会長としての同氏に育てあげられ、県畜産発展のための陰の力として果してきた功績は大であると自負している。その後、多くの人々の努力によって強く育てあげられ、本年1月からは県総畜の発行していた「おかやま総合畜産」と合併し、発行所も岡山県畜産研究会から社団法人岡山県畜産会に移り、さらにたくましくなってきた。そして、この15周年も、惣津畜産会長のもとで迎えたことは何かの因縁であろう。

◇ 編集においても、15周年を記念して、本誌の前面に最近新聞紙上に載った中央及び各地方の畜産関係の動きを抜粋また、県内の動きも抜粋し、まとめたのせてみた。これは今後も続けてゆく方針であるが皆様からの御批判をいただきたい。

また、特別寄稿として岡山県選出参議院議員、矢山有作氏に農業面、畜産面における考え方を述べていただいた。知事選挙の前後になって時期的に悪かったとも思うが、本誌9月号の加藤武徳氏の記事とも比較してお読み下さい。

◇ 実用記事としてはこれから冬を迎えるにあたっての技術経営の頁に和牛、乳牛、養鶏部門を集めて掲載した。また、本誌の各所に知っておいて役にたつちょっとした事をのせておいた。おおいに御利用いただきたいと思う。

◇ 現地ルポとして川上郡川上町の酪農を取り上げた。なんとなく行きづまりの感のある本県の酪農に参考になればと思う。この記事について御質問意見等の希望があれば投稿していただきたい。

◇ 今年の畜産共進会も写真のと通りの結果をのこして終った。これで岡山県主催の共進会は一応おわりをつげたが、来年からは専門団体の主催に移る。毎年毎年さびれているといわれる畜産共進会を、来年からはより盛大にしていきたいものである。それには畜産農家全員が研究、改良の場としての畜産共進会をもっと認識して精進する必要があるだろう。

◇ なにわともあれ「岡山畜産便り」が15周年を迎えることができたことは読者諸兄あってのものであり、今後とも御支援をたまわりますことをお願い申し上げます。ますます発展を目指す岡山県畜産に寄与することを目的とする本誌の発展のために、関係各方面の御協力を重ねてお願い申し上げます。

岡山畜産便り 1964.10・11

本誌の予約申込要領

誌代 一部 50円 (送料共)

年間予約 600円 (送料共)

但し1部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も1部50円のサービス価格とす。

集団申込の特典

10部以上を一括で年間予約する方は1部誌代を45円にします。100部以上を一括で年間予約する方は1部誌代を40円に割引きます。但しこの場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山氏桑田町1丁目2番地

社団法人岡山県畜産会管理普及課

(電話) 岡山 22-8575 番

(口座番号) 岡山 1303 番